●採択枠・採択事業名：独立行政法人・国際協力機構 草の根技術協力（地域活性化特別枠）
「カンボジアにおける持続可能な社会構築のための社会科カリキュラム・教科書開発支援」
●実施機関・協力機関　：ひろしま平和貢献ネットワーク協議会、カンボジア王国教育・青年・スポーツ省

03 カンボジアカリキュラム・教科書開発支援プロジェクト

1. Introduction ―プロジェクトの目的・経緯・背景

世界で推進されている「持続可能な社会」の構築に向けたカンボジア型教育の発展に向けて、初等・中等学校の社会科カリキュラムと教科書改訂を支援することを目的

Q. なぜカンボジア？

広島県は、JICA草の根技術協力事業として長年にわたりカンボジアの平和復興と発展を支援してきました。

広島県（実施団体：ひろしま平和貢献ネットワーク協議会）は、JICA草の根技術協力事業等をとおして長年にわたりカンボジアの平和復興と発展を人材育成の観点から支援してきました。現在、カンボジア王国は、内戦の復興期から急速な経済開発期へと移行しつつあり、国際社会やASEANの枠組みの中でカンボジアが真に持続可能な社会を実現するためには社会科教育の質的改善が欠かせません。広島大学教育ビジョン研究センターも本事業に協力し、戦争の惨禍を経験した「ヒロシマ」ならではの知見を活かし、内戦で傷ついたカンボジアの平和構築と教育発展に貢献しようとしています。

専門家としてEVRIが協力

教科教育研究・カリキュラム研究の拠点である広島大学が培ってきた知見を活かし、カリキュラムづくり・教科書づくり・授業改善の一体的な支援を目指す

01. カンボジアへ専門家を派遣
・4半期に１回
・現地でDCD(カンボジア王国教育省カリキュラム開発局)スタッフの要望に対応しながら、カリキュラム・教科書・授業を一体的に考える臨機応変な研修を実施

02. DCDスタッフを広島に招聘
・年度に１回
・カリキュラムや教科書開発に関する理論的で体系的な研修を集中的に実施

03. 指導主事を派遣
・年度に1.2回
・社会科授業の実態調査
・新しいシラバス・教科書のあり方を体現する授業づくりを現場教師にコンサルティング

2. Activities―活動

▶ 1年目(2017年度)…カリキュラム開発の理論研修と「ベースライン」の確定

日本側から理想的なシラバス案を提示するのではなく、あくまでもDCDスタッフ自身に、カンボジアの文脈に沿ったシラバスを試行錯誤する中で開発してもらえるように研修をデザインし、現地の協力校や広島県の指導主事の協力を得ながら、継続的に数多くの社会科授業の観察・データ収集・分析をしました。

【現地研修】
○カリキュラム・フレームワークの理念と準備状況を調査
○教員養成校を訪問・地理教員養成の現状を調査
○教科書を活用した地理授業の実施状況を観察

【現地研修】
○カリキュラム開発・改善・評価のプロセスに関するセミナーを実施
○現地の先生による授業を観察

【現地研修】
○現行社会科シラバスのもとでの授業の実態把握
○学校訪問・８つの授業を観察

2017.4　5　6　7　8　9　10　11　12　1　2　3

【現地研修】
○カリキュラム・教科書づくりについてセミナーを開催
○カリキュラム改訂の進捗状況を聞き取り
○教科書デザインの解説とワークショップ

【本邦研修（EVRIを拠点）】
○DCDスタッフ7名が来日 EVRIを拠点にて本邦研修
○本学スタッフによる理論講座・各分野のシラバス改訂作業

【現地研修】
○カンボジアにおける課題発見・解決型授業のあり方についての実践的なモデルの提案
○現在改訂中のカンボジア社会科シラバスと関連づけた公開授業を実施。

1年目に実施した社会科授業の実態（ベースライン）調査の成果:
・守谷富士彦ほか(2018)「カンボジア中学校社会科授業の現状と再生産の構造」『広島大学大学院教育学研究科紀要 第二部 文化教育開発関連領域』67号、75-84として刊行

▶ 2年目(2018年度)…教科書づくりの支援とモデル授業の実施・検討

1年目に開発した社会科シラバス（カリキュラム）の理念を実現する授業を実施するための教科書づくりの支援を行いました。本邦研修では教科書開発に関わる理論の習得と活用を行い、現地での研修では広島県の指導主事の協力を得ながら開発したモデル単元を現地教諭とともに実施・検討していきました。

【現地研修】
○教科書活用の方法を実践的に学ぶ授業の研究
○教科書構成の方法を理論的に学ぶセミナー開催
前半:小学校で授業研究　後半:DCD関係者32名に教科書の作り方を協議

【現地研修】
目的：教科書づくりの理論をDCDスタッフで共有、
考案した教科書デザイン原則をカンボジアの文脈に合わせて見直し
○教科書の内容と印刷に関わる関係機関との打ち合わせ会議を実施

2018.4　5　6　7　8　9　10　11　12　1　2　3

【本邦研修（EVRIを拠点）】
目的：①教科書及び指導書の開発方法を理論的・実践的に学ぶこと　②モデル単元の教科書・指導書を実際に開発できること

【現地研修】
○パイロット調査に向けた目的と課題の共有
○小・中学校の協力を得て、パイロット調査の研究授業と検討会

【現地研修】
○現行教科書と新モデル教科書を使った授業プランを現地教員が提案、指導主事がコンサルティングを行う形で開発・改善

2年目に実施した本邦研修の成果:
・大坂遊ほか(2019)「教科書開発者の専門性を高める研修プログラムをいかにデザインするか―カンボジア教育省社会科教科書改訂プロジェクトを例に―」『学校教育実践学研究』25巻として刊行予定

その他の詳細な研修内容については、EVRIホームページよりご覧いただけます▶